



かえでゆうびん 5月号



先月の保護者会は多数ご参加いただきありがとうございました。
短時間ではありましたが園の取り組みや思いをお伝えでき、その後は
お子様と触れ合ったり、保護者同士がお話しできたりと穏やかな雰囲気
の中で皆様と過ごせたことに感謝いたします。
今年は「こころのぽけっと・お話しましょ」のテーマに様々なことを
ゆったりと会話し、「こどもまんなか」を意識しながら取り組んでいき
たいと思います。
また、これからも行事後には必ず「アンケート調査」を行い、次に繋げ
られるよう皆様のご意見を集約し、進め方や内容を検討し運営をして
いきたいと思っております。ご協力どうぞよろしくお願い致します。

先日、昨年に引き続き、職員と山梨県北斗市の「ぐうたら村」に研修
に出かけました。昨年より西宮を1時間早く出発した甲斐もあり渋滞に
会うことなくスムーズに現地に行けました。今年はほとんどの職員が
参加することができ、昨年参加した職員と合わせてこれから同じ思いで
環境を考え進められることができるそうです。SDGsの社会を・・・自然
と対話していこう・・・など言いながらも実際はほとんどの職員が経験
したことがない若い先生たちに「実体験から見いだす保育環境」を
テーマに共同作業を行いました。森を散策し、見るもの・触るもの・
匂う事・自然の音など精一杯五感を働かして自然と触れあいました。
それぞれが「かえでのできる事・やってみたいこと」を出し合い、
皆で自然に近い方法で作る「土づくり」にも挑戦しました。枯草を集め、
糠谷もみ殻水を重ねていくという単純作業でしたが自然の植物との
共存できる方法も見つけられた気がします。
そして、「自然の循環」をテーマに森を歩きながら人間が自然とどのよ
うに向き合えるかも考えることができる2日間でした。
かえで保育園が開園し14年目になります。子供たちの思いのいっぱい
詰まった園庭の木々や植物も少しずつですが確実に大きく育って
きました。この歴史をたいせつにこれからも保育環境を考え、皆が
気づいたり、思ったり、挑戦したり、観察したりできる保育環境を
作っていきます。そしてだいちの願いの「基地づくり」も進めています。
ことしもたくさんの発見・やってみたいことをやり遂げられるよう
導いて行きます。



おねがい



- ルクミーの連絡帳の使い方
幼児クラスは7:30までに送信してください
乳児クラスは登園前までに送信してください
また、各担任間で必ず保育前に閲覧をし、受け入れをします。
送信されていない場合は子どもたちの健康チェック等ができません
ので、必ず送信ください。
- 病気の種類によって医者や登園許可が必要な場合がある為、保護者会
でお配りした「たいせつなこと」の「登園届」「登園許可書」をコピーし、
ご使用ください。届け出の提出がないと保育を受けることはできません。
- 気管支拡張剤を日中使用する際は、気管支拡張剤確認書とお薬の説明
書を添えて必ず職員に直接渡してください。
- 暑い日や外遊び後はシャワーをします。
ロッカー内に**体拭きタオル**と**着替えの補充**をしていただくと共に
持ち物に名前があるかの確認をお願いします。

おしらせ



5月の予定

- 4月30日～16日 常盤大学 保育実習2名 受け入れ
5月13日～6月17日まで 毎月曜日健康福祉科の学生受け入れ
- 8日(水) 幼児クラス弁当日
- 13日(月) だいち園外
- 20日(月) 避難訓練
- 21日(火) 子育て支援アート
- 24日(金) 全園児運動発表会
- 28日(火) 誕生会
- 27日～31日 浜脇中学校トライやる4名 受け入れ

- *体操9・16・30日
- *絵画15・31日(水・金)

6月の予定

- めばえ組懇談会
- ふたば組懇談会
- つぼみ組懇談会
*詳細が決まり次第お知らせします。
- 15日(土) 同園会(1年生から6年生まで)

新緑が美しい季節になりました。

ならし保育中のめばえぐみのお子さんが保育者と抱っこで園庭に出ているとき
風が吹き揺れる葉っぱを見つけた一瞬、「はっ」と一点を見つめていました。
その時どんなことを感じたのでしょうか？風を肌で感じたり、風の音を
感じたり、また匂いを感じることもあるでしょう。大人が気づけなかったことを
感じ知ることもあるでしょう。一人ひとりのお子さんが保育園生活にも慣れて
来る頃です。今日も楽しかった、明日も保育園に行きたいと思える気持ちを
子どもだけではなく、保護者のみなさまにも子どもの姿を通して、感じて頂ける
よう共育をしながら過ごして行きたいと思っております。
5月から計画している「大人クッキング」(申し込み締め切り5月8日・先着
10名)では、私自身が普段作っていてこれなら簡単、おいしかったと思える
料理を紹介して行きたいと思っています。みなさんのおすすめのお料理やこれ
どうやったら簡単に作れる？と言ったようなお話やご質問などもお受け
します。みなさんで料理を作りながら、ゆっくりお話しできる時間を大切に
していきたいと思っておりますので是非ご参加お待ちしております。

主幹保育教諭 F

新年度が始まり1か月、子どもたちにとっても保護者の方にとっても期待と
不安が入り混じった4月だったのではと思います。初めてかえで保育園に
やってきてくれたお子さまが保護者の方と離れる時、寂しそうな泣き声と共に
手を伸ばしていますが、保護者の方もきっと後ろ髪惹かれる思いでそばを
離れているのではないのでしょうか。
子どもたちはというと、少しずつではありますが、保育園の中で安心できる場所
や保育者との関わりを重ねて、世界を広げているところです。“だっこして”と
保育者に手を伸ばしたり、“いやいや”と表情や身振り手振りで教えてくれたり
…。まずは感じていることをありのまま表現できる場所に、そして人と繋がる
ことが心地いいと感じられる毎日を過ごしてほしいと思っています。
おうちでのエピソードも、保護者の方の想いも、たくさん聞かせてくださいね。
先日窓際に座り、園庭の様子をじっと眺めていためばえ組のSくん、風に揺れる
花を見ているのか、道行く人を見つめているのか、Sくんからは何が見えている
のだろう？と思いながらそっと見守っていました。
しばらくして風の中を泳ぐこいのぼりを指さし、「こいのぼり、ゆらゆらおよい
でるね。」と声を掛けてみると顔を上げてこいのぼりに気付いたようです。「やね
よりたかい〜」と歌ってみると、お尻を上げて右に左にふりふり…歌が終わると
くるっと振り返り、にっこりと笑顔で返してくれる姿はまるで、“たのしいね”
と語りかけてくれているようでした。目を合わせて感じたことを分かち合える
瞬間は、乳幼児期の子もたちにとって大切なコミュニケーションの一つです
ね。子どもたちから送られるまなざしのメッセージを、逃さないように大切に
受け止め、分かち合っていきたいと思っております。

主幹保育教諭 K

先生のメッセージ

春になり園庭にはたくさんの生き物たちが顔を出すようになりました。その中でも私が毎年子どもたちと取り組んでいることはアゲハ蝶の幼虫の飼育です。アゲハ蝶は毎年園庭にあるみかんの木にたまごを産みにやってきます。そのたまごが蝶になるまでの様子を子どもたちと観察することが楽しみのうちの1つです。又、子どもたちと一緒に蝶を探したり虫網を持って追いかけて遊ぶことがとても好きです。自分が小さな頃は兄と毎日虫網と虫カゴを持って夕方まで虫を捕まえて遊んでいました。そして先日には大人になった今も遊び心を忘れず田舎に帰った際に全力で父とカエル探しを楽しみました。ですが、最近は近所で虫取りをしている子どもを見かけることが減ったように感じます。又、公園ではボール遊び禁止など、子どもの自由が奪われているように感じます。安全もちろん大事ですが、子どもたちにはもっとのびのびと遊んでほしいと思う日々です。だからこそ園庭では子どもたちと思いきり野球をしたり全力で虫捕りを楽しめるような環境をつくっています。今年もアゲハ蝶のたまごを子どもたちと見つけ虫カゴに入れてつぼみ組の部屋の前に置いています。又、トノサマガエルの飼育も1階の廊下の生き物コーナーでしています。保護者の方々も是非、お子様と一緒に見ていただけると嬉しいです。そして、いつでもお声掛けください。

保育教諭 K

保護者からのエピソード

最近は保育園での話を毎日してくれるようになりました。「今日〇〇くん来てたで」「〇〇ちゃんご飯と納豆食べてたで」「お山でこけて、〇〇先生が絆創膏貼ってくれた」と保育園のお友達の話や保育園での出来事を一生懸命お話してくれる姿が微笑ましく、そして成長をすごく感じます。

つぼみ組 まなみさん

4月から大好きなお姉ちゃんが小学校にいき、通えるかなと心配していましたが、幼児さんになることを誇らしそうに通う姿に安心しています。だいちゃんになりたいねん！と飛び級したいようですが、笑
お友だちに家に来てほしい！！お友だちと散歩したい！と、お友だちと！！という発言が増えていきます。毎日、めいっばい保育園生活を楽しんでもらいたいと思います。

いぶき組 よしえさん

野球がとても大好きで、家でも外でもところかまわずスライディングやヘッドスライディングを決めています。最近は保育園でも野球に興味のあるお友だちが増えてきて、さらに楽しくなっているようで、半袖半ズボンでもスライディングをして、毎日どこかケガをして帰ってきます。お風呂でしみて痛いんちゃうかなと思っていても、オレこんなケガ平気やで！強いで！と、普段はちょっとビビリちゃんな一面もありますが、とてもたくましく育っている姿を見せてくれる今日のこのごろです。

ひかり組 まどかさん

兄は保育園での出来事を毎回、「今日はこんなことあったよ。」「今日はこんなことしたよ。」と楽しく話をしてくれます。楽しんで通ってくれているので嬉しいです。妹は、少しお兄ちゃんに比べたら話したりが遅い気はしますが、こっちが言うことも分かってきて、少しずつコミュニケーションが取れてきています。迎えの時など一番に笑顔で駆け寄ってきてくれて、それが癒しになっています。誰にでもバイバイしたり、タッチすることが好きです。この可愛さが一生続けばいいですが、気に入らないことがあると叩いてきたりするので心配なところもあります。兄妹とも仲良く、楽しく、元気に生活してくれたら、それだけで満足です。

ふたば・だいちゃん組 つばささん

最近よく保育園で作った作品をお家に持って帰ったり、お迎えのときに2階の作品が置いてある所まで連れて行ったりして見せてくれます。家族やお友だちを描いた絵だったり押し花で作ったネックレスだったりいつもとても癒されています。次はどんな作品を作ってくれるのかいつも楽しみにしています。

ひかり組 りょうすけさん

だいちゃん組さんになって翌日の準備を自分でできるように。朝の支度も自分でできることが増え、とっても楽になりました！下の子なので、いつまでも小さいと思って手を出し過ぎていたことを反省。しっかり成長を見せてくれています◎
保育園生活も最後の1年。いろんなことをたくさん経験して更なる成長を楽しみにしています！

だいちゃん組 まりなさん

4月の子どもたちのようす



新しい環境にも慣れてきて、さまざまな玩具に興味をもち始めました。ガラガラやベル、たいこ、オーガンジーなど音や感触を楽しんでいます。触ってみると…音が鳴った！動いた！柔らかい！などたくさんの発見が生まれていきます。



保育者と1対1でゆったりと関わる中で、安心して眠る姿や無邪気に笑う姿がたくさん見られるようになりました。毎日の関わりから少しずつ安心できる存在となってきているように感じます。一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添ってまいります。



慣らし保育が始まり、初めは保護者の方と離れて少し不安だった子どもたちも、少しずつ自分の好きな遊びを見つけて過ごしています。在園児と出会いお互いを見つめ合ったり、初めての場所を探検したり、幼児のお兄さんお姉さんにお世話をしてもらったりと、微笑ましい姿がよく見られます。



めばえ組の時から育てていた小松菜をみんなで収穫しました。大きい葉っぱをじーっと観察したり、ざらざらの感触を不思議そうに触れていました。収穫した小松菜は調理の先生に自分たちで渡しに行き、その日のお昼ご飯の汁物に入れてもらいました。昼食時、「とった！」「おいしい！」と嬉しそうに食べる子ども達。今年度のふたば組でも、植物の栽培を通してたくさんの“おいしい”に出会って欲しいと思います。



春になり、園庭にはたくさんの生き物が顔を出すようになりました。特に子どもたちからはダンゴムシが大人気で、毎日園庭に出るとダンゴムシ探そう！と誘ってくれます。触るのがまだ怖い子どもはお友達がカップの中に入れていたダンゴムシを見せてもらって喜んでいました。



先日つぼみになって初めての体操がありました。最初は簡単なお引越りゲームをしました。体操の先生の話聞いて動物になりきり、マットからマットへ移動をして遊びました。ダンスは「マスカット」を元気よく踊りました。



好きな色のスズランテープを選び、手先を使ってねじったり固結びをしました。三つ編みに挑戦する子どもは、年上のお姉さんから教えてもらい、集中して作る姿が見られました。作った三つ編みを使い、しっぽとりも楽しみました。



かえで保育園にいるもりぴーといっちゃんが築山に散歩をしていたところ、興味津々の子どもたちは優しくなでたり見守ったりしていました。みんなの足でトンネルを作り、もりぴーといっちゃんが通ると「通ったね」と嬉しそうでした。



園庭に出れば、ダンゴムシなどの春の生き物たちとの出会いがあります。ある日、幼虫を見つけた子どもたち。「なんの幼虫だろう…」と不思議に感じ、図鑑で調べてみることにしました。調べて気付いたことや発見したことをクラスで集まり、伝え合いました。そこから虫や昆虫への関心が深まり、園庭や室内でも図鑑や虫眼鏡を使いながら遊んでいます。



お昼ごはんに登場する金時豆をひかり組で作ってみました。一晩水に漬けておいた豆をぐつぐつと煮て、豆を煮る様子をじっくりと観察しました。「あまいにおいがする!」「ぷくぷくあわがでてる!」と沢山の不思議や発見がありました。出来たのあたたかい豆を食べたあと、お昼ごはんの時にもう一度食べてみると、味がしみて甘くなり、「あまくておいしいね」と味わいました。



～エルマーの冒険～

だいち組で読んでいる「エルマーの冒険」の世界観を表現することを楽しんでいます。画用紙にエルマーやりゅうをクレパスで描いたり、ダンボールに自分の身体を型とって等身大エルマーを作ったり…。一人が絵を描き始めると「私も描こう!」「手伝ってもいい?」と周りにどんどん友だちが集まってきて、みんなで作品を作り上げています。これからもお話の世界をどのような形で子どもたちが膨らませていくのか楽しみです。



～当番活動～

去年のだいち組から受け継いだ当番活動。5人1グループで、「ご飯準備隊」「生きもの隊」「絵本室隊」3つに分かれて午前中や昼食後に活動しています。時計を見ながら4月の中旬は、当番を忘れていたり、時間に間に合わないこともありましたが、経験を重ねていくうちに「生きもの隊行ってきます!」「長い針が0になるからそろそろ始めようか」「OOくんはまだご飯を食べているから、私たちが先に進めよう」などと子どもたち同士で声を掛け合ったり、助け合う姿が見られ、とても頼もしく感じます。



朝のはまタイムかぜタイムやクラスで集まって歌を歌う時に声が出やすいようにと「ド・ミ・ソ〜」「ソファミレド・ド・ド」と音やリズムに合わせて音階を歌っています。ひかり組、だいち組がリズムに合わせて歌う様子を見ていたいぶき組も、最近ではままごと遊びや絵を描きながら気持ちよさそうに口ずさんでいます。



はまグループ、かぜグループに分かれて桜を見に浜戎公園と夙川公園に散歩に出かけました。満開の桜を見ながら、拾った花びらで押し花をして楽しみました。近くに咲くチューリップやネモフィラを見て春の自然を感じていました。園庭に咲いている花や色水、絵の具で紙を染め、花を作ったりと遊びが広がってきています。



お台所から

春野菜が美味しい季節になりました。

菜の花のお浸し、新じゃがを使った肉じゃが、春キャベツの味噌炒め、新玉ねぎを丸ごと焼いたものなど様々な野菜を美味しく変身させました。またカリフラワーとブロッコリーを各クラスに紹介に行きました。

ブロッコリーはみんなすぐに「ブロッコリーだ!」と得意気に教えてくれましたがカリフラワーは少し首をかしげながら「なんだっけなあ、」「見たことあるんだよなあ、」と少し難しそうにしていました。お昼には「カリフラワーのカレー風味和え」を作りました。みんな最初は眉をひそめて「なにこれ?」と不思議そうに見つめていましたが、「少しだけどう?」と皿に盛りつけてみると「美味しい!」とおかわりしてくれました。



おやつにいちごジャムトーストを出す日に「美味しいイチゴジャムを作りたいんだけど、だいちさん手伝ってくれる?」とだいちさんに聞いてみました。すると、前にイチゴジャムを作ったことがあるだいちさん、「いいよ、任せて!」と嬉しそうに少し混ぜるのを手伝ってくれました。

「いい匂い! おいしそう〜」と一人ずつにおいを嗅ぎながら楽しく混ぜてくれました。そしておやつが出来上がると「だいちさんが混ぜたんだよ」とお昼寝から降りてきたいぶきさんに話していました。



～5月の献立・予定している食育活動～

新しい環境にも少しずつ慣れ、最近では「おかわりー!」と元気いっぱいの笑顔で声をかけてくれるお友達も多くなってきてとっても嬉しいです。

これから、どんどん気温が上がり季節の変わり目になるため体調管理には十分注意して元気いっぱい過ごしてほしいと思います。

5月は、桜の葉で包んだ「さくらもち」が登場します。

また「たけのこ」などの季節の食材も取り入れ、食材に触れる機会をつくっていきたいと思います。

栄養士 廣田恵 信田まなみ

5月のあそびへの思い

めばえ

どんな子どもたちと出会えるかな？と心待ちにしていた4月ですが、あっという間に5月になりました。初めは泣いていたお友だちも、徐々に笑顔が増えていく姿を嬉しく感じます。子どもたちにとって初めての保育園生活は毎日が発見の連続です。先生に毎日抱っこしてもらって少しずつですが気持ちが落ち着いてきました。子ども達との触れ合いを大切に、みんなにとって安心できる、そして心地の良い居場所となってもらえるよう1対1でゆったりと関わる中で信頼関係を築いていき、毎日を大切に過ごしていきたいと思います。そしてこれから一人ひとりがどんな物に興味をもっていくのか、またどんな表情を見せてくれるかとても楽しみです。

ふたば

新年度に入り、新しいお友だちを6人迎えて15人での生活がスタートしました。初めての保育園や新しいお部屋、新しい先生、、環境の変化に戸惑うこともあるかと思いますが、毎日色々な瞬間が可愛い笑顔で溢れています。園庭に出るとカメの様子を毎日見に行ったり、部屋の前に咲いているチューリップにお水をあげたりと、興味津々な子ども達。お部屋でも季節の手遊びやうたを歌いながら、保育者の動きをよく見て上手に真似ています。少しずつ自我が芽生えるこの時期に、子どもたちの「これは何だろう？」「あれやってみよう」という思いに寄り添っていきたくと思います。また、「先生が見てくれている」という安心感を感じながら、温かい雰囲気の中でゆったりと過ごせるよう見守っていきます。

つぼみ

あっという間に春が過ぎて「暖かい日」から「暑い日」が増えてきましたね。子どもたちはつぼみ組になってから担任や環境が変わり、ドキドキとした日々を過ごしていましたが、今ではすっかり慣れて「つぼみさ〜ん」と呼ぶと自信満々に「はい！」と返事をしてくれます。園庭で過ごす時間も増え、自分のしたい遊びを全力で楽しんでいます。中でも生き物に興味津々の子どもたちで、幼児さんが育てているカエルのお世話を見せてもらったり、ピオトープにいるおたまじゃくしの観察を楽しんでいます。又、アゲハ蝶が園庭に姿を見せるようになり、友達と一緒に夢中で追いかけています。これからもたくさんのことに興味を持って、毎日を新たな発見の日々にしていきたいです。

いぶき

幼児クラスになり1ヶ月が経ちました。子どもたちは、お兄さんお姉さんがしている遊びに興味をもったり、友だちが遊んでいる姿を見て「やってみよう」と好奇心旺盛です。

園庭に叩き染め・色水コーナーがあり、「してみたいな…」とドキドキしながら様子をうかがっているとペアのお兄さんお姉さんがきてくれ、新しい遊びに挑戦できました。他にもアートコーナーに興味津々で、「絵の具したい」「三つ編みしたい」としたい遊びを見つけて色々な刺激の中、幼児クラスでの生活を楽しんでいます。これから自分のやりたいことをたくさん経験しながら、様々な「おもしろい」「やってみよう」を広げていきたくと思います。

ひかり

新年度がスタートして、早くも1ヶ月が経ちました。先日煮豆のクッキングをしたことから金時豆を、種から育ててみることにしました。クラスで集まり、金時豆の他にも黒豆やえんどう豆など様々な豆を育てたい！と声が上がりました。豆を育てることにわくわくした気持ちを持ちながら、軽石を入れ、土を用意し、種を一粒ずつ大切に植えました。「おみずをあげなきゃね」「おまめ、できたかな？」と園庭に出ると、金時豆のことを気にかける様子が見られます。これからひかり組の豆物語が始まります。



だいち

待ちに待っただいち組での生活が始まりました。子どもたちはやってみようことがたくさん溢れており、バス遠足の目的地や運動はっぴょうかいの内容などを食事のあとに絵本室に集まって話し合う機会を設けています。

「ひみつの時間ミニ」という名称で、だいち組だけの特別な時間として楽しみにしているようです。話し合いの中で、自分の気持ちを言葉にして話す経験や、友だちの話を聞いて思いを汲み取る経験になればと思います。また、やってみようことを実行するにはどんなことが必要なのかどんな準備をしたらいいのかを具体的に進められるよう関わっていきます。

はまかせ

幼児クラスでは、異年齢での関わりが深まるよう「はま」「かせ」グループに分かれて活動をしています。毎朝今日はどんなことがあるか話をしたり、季節の歌を歌う『はまタイム』『かせタイム』があります。だいち組を中心にペアのいぶき組、ひかり組に声をかけて一緒に向かいます。声をかけてもらい「そうだった！」と気付いて一緒に行く子「これしてから行きたい」と遊びに夢中になる子、どんな言葉をかけたら来てくれるか悩む子と様々です。「手繋いでいく？」「次外出した時にしようか」と子どもたちなりに前向きな言葉で伝えようと日々向き合いながら関わる姿が見られます。手を繋いでほしいと手を伸ばす様子に嬉しそうに手を繋いで「おやつ何かな？」と目を合わせて話す様子は、お互いの気持ちが届いたようにも感じました。子どもたちが試行錯誤しながら気持ちを伝え合う様子や異年齢ならではの関わりを深めながら楽しみたいです。